

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	令和 7年 7月 31日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
京都市伏見区石田森南町28-1	医療法人 医仁会 理事長 武田 隆久
	電話番号：075-572-6331

環境マネジメントシステムの名称	独自のシステム（自己宣言）
適用範囲	武田病院グループ
導入年月日	1997年 12月 18日
認証番号	
基本方針	武田病院グループは、SDGs17の目標を活動に掲げ、保健・医療・福祉・介護及び関連活動の中で常に考慮し、生物と地球にやさしい、心がかよ、心が安らぐ豊かな社会環境の実現に貢献します。また、法規・法令を遵守するとともに世界の環境関連機関における理念・要求・協定等を尊重し、組織的、継続的な改善と調和を推進します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	SDGs活動を中心に職員、関係者の定期的な環境教育・BCP訓練等の活動を浸透させ、省エネルギー推進委員会を中心に活動し「2050京から CO2ゼロ条例」を視野に入れ、温室効果ガスの削減を目指す。サプライチェーン上の関係者と共に、所属長会議を中心に物品購入時の省資源活動と共に廃棄物の削減、4Rの推進、CO2排出量の少ない車、機器の積極的な導入を推進する。SDGs・環境広報は機関紙をはじめ、デジタルサイネージやホームページ等で積極的に行う。
目標を達成するための取組の内容	省エネルギー推進委員会にエネルギー管理士を配置し、定期的なエネルギーの消費チェックや施設調査等、省エネ活動を推進している。また、エネルギー管理専門家の派遣利用や国の省エネ事業を利用した高効率機器の導入等によりエネルギー利用の高効率化を図っている。サプライチェーン上の協力者を含め、物品購入時は環境購入を優先させ省資源活動と共に廃棄物の排出は計量と共に4Rを推進している。
目標を達成するための取組の進捗状況	職員のSDGs教育、環境教育は全体的に進んでいる、代替フロン機器管理も理解されてきた。DX電源法の施行等から主病院では稼働率の高い小型熱源機器の更新時、老朽化GHPはCOPの高いEHPへの更新、給湯機器はヒートポンプへの更新を推進している。グループ内の熱効率の低下した大型CGS（100KW以上）に関しては主機能としてBCP対応、系統への調整電力供給へと移行している。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	代替フロンの管理を始め、電動自転車の利用、また、DX電源法の施行に伴い、CGS等の効率低下したガス熱源機器の運用からCOPの高い電気式機器（ヒートポンプ）への入替等によりエネルギー削減ができた、また、ライトダウンキャンペーンへの参加、エネルギー管理専門家による省エネ提案の実施等、行政からの助言も得ながら、省エネを推進した。
事業活動に係る法令の遵守の状況	法規、条例の変更、世界的な環境関連機関の要求、改定等による対応は環境マニュアル、環境エネルギー管理規定、環境法規管理規定と環境法規管理要領書・環境法規管理チェック表、機器管理表に基づいて管理を行っており、その対応に関しては特に問題はない。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	法規・条例の改訂、世界的な環境関連機関の要求等によるマニュアル、規定の改定、見直しを定期的実施している、職員全体に対してはデジタルサイネージ・年報・NETを利用した環境報告を実施している。BCPマニュアルによる地下浸水、地震災害、防災・危機管理への設備導入は部分訓練を通して見直し、非常用発電機の管理方法の改善等、取り組みは少しずつ前進している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。